

年 月 日

大野城市長 宛

氏名

16歳以上19歳未満の控除対象扶養親族に関する申立書

私の所得税法上の扶養親族のうち、前年（1月から7月までの間に申請する場合にあっては、前々年）の12月31日において年齢が16歳以上19歳未満であった者について、以下のとおり申し立てます。

□ 16歳以上19歳未満の控除対象扶養親族						
1	フリガナ		続柄		生年月日	年 月 日
	氏名		住所（別居の場合）			
2	フリガナ		続柄		生年月日	年 月 日
	氏名		住所（別居の場合）			
3	フリガナ		続柄		生年月日	年 月 日
	氏名		住所（別居の場合）			
4	フリガナ		続柄		生年月日	年 月 日
	氏名		住所（別居の場合）			

【添付書類】

- 16歳以上19歳未満の控除対象扶養親族の所得証明書

【注意事項】

- この申立書は大野城市養育費保証契約締結支援事業補助金の交付を受けようとする方に、前年（申請日が1月から7月までの間にある場合は、前々年）の12月31日において年齢が16歳以上19歳未満の所得税法上の扶養親族がいる場合において、その扶養親族の氏名や、当該補助金の交付を受けようとする方との続柄等をご記入いただくものです。
- 所得税法上の扶養親族とは、前年（1月から7月までの間に申請する場合にあっては、前々年）の12月31日において、次のいずれにも該当する方です。
  - 配偶者以外の親族（6親等内の血族及び3親等内の姻族をいいます。）又は都道府県知事から養育を委託された児童（いわゆる里子）や市町村長から養護を委託された老人であること。
  - あなたと生計を一にしていること。
  - 前年（1月から7月までの間に申請する場合にあっては、前々年）の所得税法上の合計所得金額が38万円以下であること。
  - 青色申告書の事業専従者として給与の支払いを受けていない又は白色申告書の事業専従者でないこと。